

## 平成17年度第2回京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録

日 時：平成17年9月16日(金) 16:00～18:00

場 所：キャンパスプラザ京都 2階会議室

出席者：鏡味洋史、源栄正人、辻本哲郎（代理：鷲見哲也）、真木太一（代理：脇水健次）、寶 馨、千木良雅弘、堀 宗朗、田中仁史、中田節也、新野宏（代理：守田 治）、岡田義光、矢守克也

オブザーバー出席：河田恵昭、田中孝紀（（財）地震予知総合研究振興会・部長）

事務局：岡本 健（研究協力課長）、角井宏司（研究協力課研究支援課長）

欠席者：山岡耕春、高濱信行、石橋克彦、岡田憲夫、渡邊邦夫、石垣泰輔

オブザーバー欠席：藤井 隆（文部科学省研究開発局・室長）、佐々恭二

（順不同、敬称略）

配付資料：

資料1「平成17年度第1回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）」

資料2-1「関西地区部会報告」

資料2-2「北海道地区部会報告」

資料3「平成17年度データベース SAIGAI 運営会議議事録」

資料4「第42回自然災害科学総合シンポジウム」（プログラム及び冊子）

資料5「平成17年度突発災害研究実施課題：宮城県沖地震の資料」

議事に先立って、鏡味洋史議長、河田恵昭防災研究所長より挨拶があった。

議 事：

### 1. 前回議事録の確認（資料1）

4月28日の第1回会議の議事録（案）を、総務担当（寶委員）が説明し、承認。

### 2. 平成17年度の活動状況（報告及び計画）

#### （1）各地区部会

資料2-1に基づき、関西地区からの報告を石垣関西地区部会長（欠席）に代わって総務担当（寶委員）が説明。自然災害シンポへの協力（石垣委員が実行委員長）、新しい試みとして訪問講義を、若手研究者の講義経験と学生への自然災害研究の紹介と参加の啓蒙を目的として行う旨、報告があった。

資料 2-2 に基づき、鏡味北海道地区部会長より、8 月 2 日に行われた北海道地区自然災害地区部会幹事会・災害資料センター運営委員会の報告があった。資料センター長に林川俊郎（北大・工）地区部会長に鏡味委員が就任したこと、北海道地区自然災害資料センター報告 19 号の発刊、20 号の計画、地区フォーラムの計画について審議したことなど。

#### （ 2 ）人材データベース、データベース SAIGAI

矢守委員より、平成 17 年度データベース SAIGAI 運営会議議事録（資料 3）に基づき、データベースに関する活動状況の報告がなされた。今年度の活動方針として、科研費不採択により、協議会から各地区センターに人材 DB の 5 万円の予算のみの配当となるので、ボランティアベースで新着分の入力作業だけでも進めること、SAIGAI と人材 DB とを連携して進めていくことが合意されたこと、東北地区部会では名簿の更新が逐次 EXCEL ファイルとしてなされており、この情報を人材 DB に活用して良いこと、SAIGAI 用入力テンプレートを作成して入力作業の促進を図ること、などが報告された。

#### （ 3 ）平成 18 年度以後の科学研究費等の申請について

前年度同様、研究成果公開及び基盤研究などで申請し、協議会の活動資金の獲得を目指す旨、総務担当（寶委員）より報告された。

### 3 . 第 42 回自然災害科学総合シンポジウムについて

翌日（9 月 17 日）にキャンパスプラザ京都で開催されるシンポジウムのプログラムと論文集が配布され、各委員の参加が要請された。特に今回は、協議会がなし得る国際的な活動についてシンポジウム企画として話題提供とパネルディスカッションが行われる旨、紹介があった。

### 4 . 今年度の突発災害研究、緊急研究について

千木良委員により、資料 5 に基づいて、8 月に採択決定された「2005 年 8 月 16 日に発生した宮城県沖の地震に関する調査研究」（研究代表者：長谷川昭東北大学大学院理学研究科教授、1,880 万円、15 名）の研究計画について報告がなされた。

### 5 . その他

特になし。